

勘定奉行の



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.

東証1部(4733)

株式  
会社

オービックビジネスコンサルタント

2009年4月24日

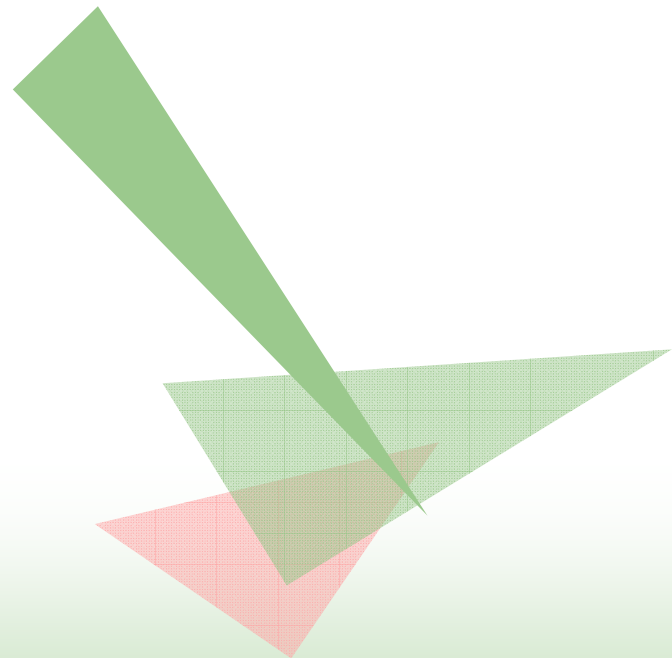
2009年3月期 決算説明会

[www.obc.co.jp](http://www.obc.co.jp)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

**I. 09年3月期 決算の概要**

**II. 2010年3月期 事業計画と戦略**



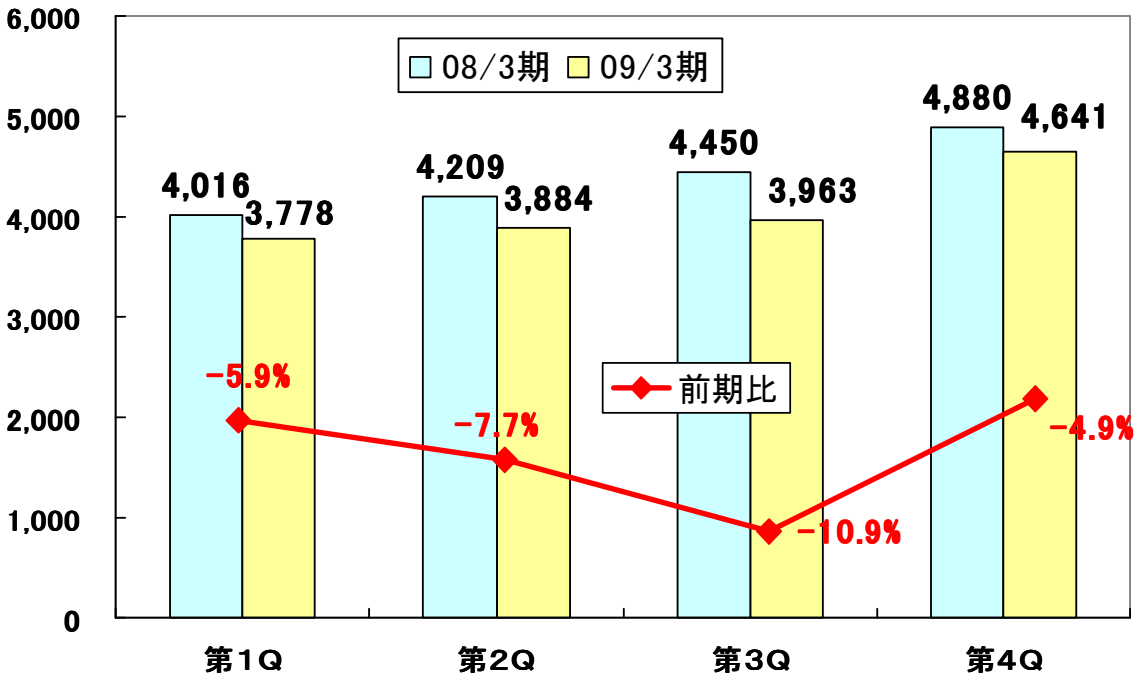
**勘定奉行の**



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.

# 決算の状況について

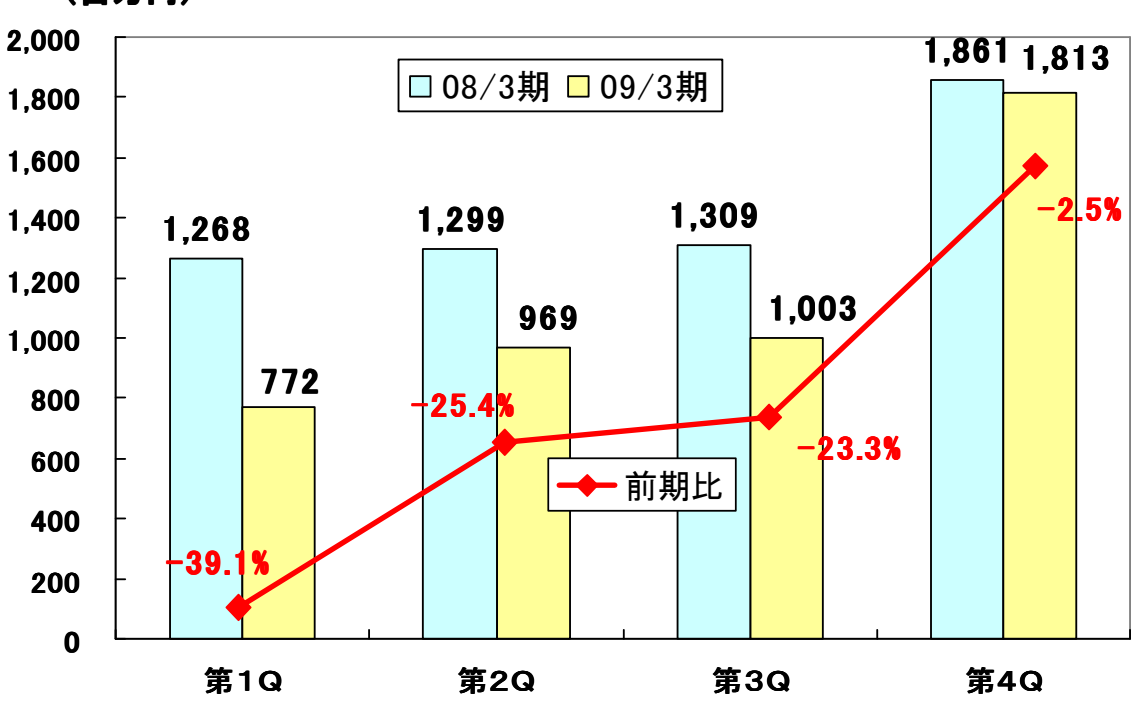
(百万円) 四半期別 売上高



## 売上高

◆ 中小企業の投資抑制による影響により、売上高は前年を下回って推移したが、奉行21Ver.5の投入によりバージョンアップ需要が喚起され、通期では前期比△7.3%に留まった。

(百万円) 四半期別 営業利益



## 営業利益

◆ 外注費等の抑制により、第3Qから粗利が改善  
 ◆ 第4Qからは、売上高の回復に加え販管費削減効果によって営業利益率が向上

## 第4Qの健闘

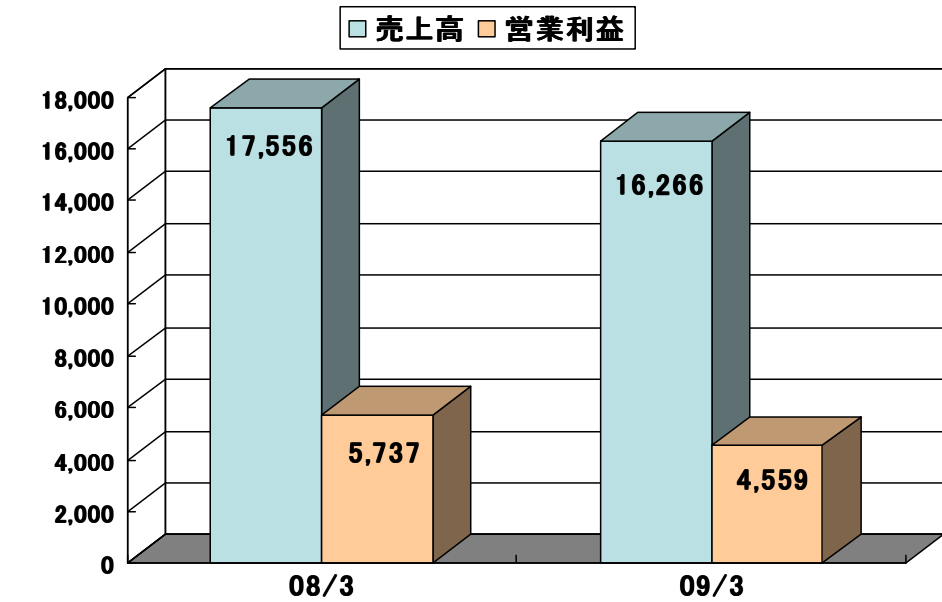
◆ 第4Qは、主に奉行21Ver.5の営業攻勢の成果があらわれ、売上高、営業利益ともに、前年同期比伸率が回復

# 09/3月期 決算の概況

## 売上高

前年同期比7.3%減、計画比1.4%減

- ソリューションは前年同期比19.1%減少
- 関連製品は前年同期比6.6%減少
- サービスが前年同期比0.5%増加



## 経常利益

前年同期比43.1%減、計画比24.2%減

- 【売上総利益】  
売上が1,289百万円減少した結果、売上総利益は1,180百万円減少。
- 【営業利益】  
広告宣伝費や営業関連コストの削減効果により、販売費及び一般管理費は対前年同期で横這いとなった。
- 【経常利益】  
投資有価証券売却損、投資事業組合運用損の計上により、対前年同期比△43.1%となった。

# 09/3月期 決算の概要

(単位:百万円)

	08/3期		09/3期	09/3期 実績		
		売上比(%)	修正予想		売上比(%)	前年同期比
売上高	17,556	100.0	16,500	16,267	100.0	△7.3
売上総利益	14,032	79.9	13,100	12,852	79.0	△8.4
販売管理費	8,295	47.2	8,600	8,294	51.0	0.0
営業利益	5,737	32.7	4,500	4,558	28.0	△20.6
営業外損益	3,592	20.5	2,500	748	4.6	△79.2
経常利益	9,329	53.1	7,000	5,306	32.6	△43.1
当期利益	5,175	29.5	3,800	2,609	16.0	△50.0

# 部門別売上高

(単位:百万円)

	08/3期		09/3期	09/3期 実績		
		売上比(%)	修正予想		売上比(%)	前年同期比
ソリューション	5,399	30.8	4,681	4,367	26.8	△19.1
関連製品	4,499	25.6	4,029	4,200	25.8	△6.6
サービス	7,658	43.6	7,790	7,700	47.4	0.5
合計	17,556	100.0	16,500	16,267	100.0	△7.3

## ソリューション

- ①奉行21シリーズは新ERP、LANPACK、Standalone全てについて新規及びバージョンアップが大きく減少。
- ②奉行V ERPは676百万円の売上を計上。
- ③オプションコンポーネントは87百万円売上減少。

## 関連製品

- ①サプライ製品売上が95百万円減少
- ②奉行連動ソリューション売上が89百万円減少。

## サービス

- ①新規出荷の減少に伴い保守契約伸び率が低下。
- ②都銀向けEB使用料が67百万円減少、インストラクター指導料収入が92百万円減少。

# ソリューション別出荷数量(本数ベース)

(単位:本)

	08/3期		09/3期 実績		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同期比
奉行V ERP	306	1.0	890	4.0	190.8
新ERP	772	2.7	469	2.1	△39.2
LANPACK	4,013	13.8	2,853	13.0	△28.9
Standalone	21,370	73.7	15,622	71.0	△26.9
Jシステム	2,552	8.8	2,186	9.9	△14.3
合計	29,013	100.0	22,020	100.0	△24.1

注) 出荷本数はバージョンアップを含む

- 【新ERP】……………奉行V ERPとの代替もあり前年同期比39%減少。
- 【LANPACK】……………新規本数、バージョンアップ本数ともに前年同期比30%減少。
- 【Standalone】……………新規本数が前年同期比35%減少。
- 【Jシステム】……………新規本数、バージョンアップ本数ともに前年同期比14%減少。

# EBソリューション

## ◆都銀向けOEM製品

- 2009年2月末稼働本数： 45,008本
- 2008年2月末稼働本数： 47,146本

提供先	商品名	提供時期
UFJ銀行	U-LINE Xtra	1998年5月
東京三菱銀行	せるふバンク	2000年5月
三井住友銀行	パソコンバンク・ナビ・ジュニア	2000年9月
みずほ銀行	みずほ2000	2000年9月

## ◆地銀向けOFFICEBANK

- 当期出荷本数：858本(前期：1,237本)

# 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	08/3期		09/3期 実績		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同期比
売上高	17,556	100.0	16,267	100.0	△7.3
販売及び管理費	8,295	47.2	8,294	51.0	0.0
販管人件費	1,970	11.2	2,027	12.5	2.9
研究開発費	2,307	13.1	2,450	15.1	6.2
広告宣伝費	713	4.1	619	3.8	△13.2
地代家賃	397	2.3	443	2.7	11.6
減価償却費	59	0.3	69	0.4	16.9
その他経費	2,849	16.2	2,686	16.5	5.7

注) 伸率は前年同期比増減率

- 研究開発費: 前期より発生している国内開発委託費が137百万円増加。
- その他経費: 販売促進費 306百万円、旅費交通費 271百万円、派遣人件費324百万円が  
主な項目

# 貸借対照表－資産の部

(単位:百万円)

		08/3	09/3	増減
流動資産	現金預金	36,076	29,309	△ 6,767
	受取手形	126	129	3
	売掛金	4,415	4,098	△ 317
	たな卸資産	155	156	1
	その他	215	726	511
	貸倒引当金	△ 37	△ 8	29
固定資産	有形固定資産	421	348	△ 73
	無形固定資産	301	210	△ 91
	投資その他の資産	35,959	31,160	△ 4,799
資産合計		77,631	66,128	△ 11,503

- ・投資有価証券の取得  
7,593百万円
- ・投資有価証券の売却  
△5,040百万円
- ・時価評価額の減少  
△6,612百万円
- ・その他 △ 740百万円

# 貸借対照表－負債・資本の部

(単位:百万円)

	08/3	09/3	増減
買掛金	178	292	114
未払金	644	437	△ 207
未払法人税等	2,125	553	△ 1,572
前受収益	4,713	4,704	△ 9
その他	603	553	△ 50
繰延税金負債	2,518	0	△ 2,518
退職給付引当金	517	602	85
<b>負債合計</b>	<b>11,298</b>	<b>7,141</b>	<b>△ 4,157</b>
資本金	10,519	10,519	0
資本剰余金	18,946	18,949	3
利益剰余金	32,396	33,412	1,016
有価証券評価差額金	5,283	1,261	△ 4,022
自己株式	△ 811	△ 5,154	△ 4,343
<b>資本合計</b>	<b>66,333</b>	<b>58,987</b>	<b>△ 7,346</b>
<b>負債・資本</b>	<b>77,631</b>	<b>66,128</b>	<b>△ 11,503</b>

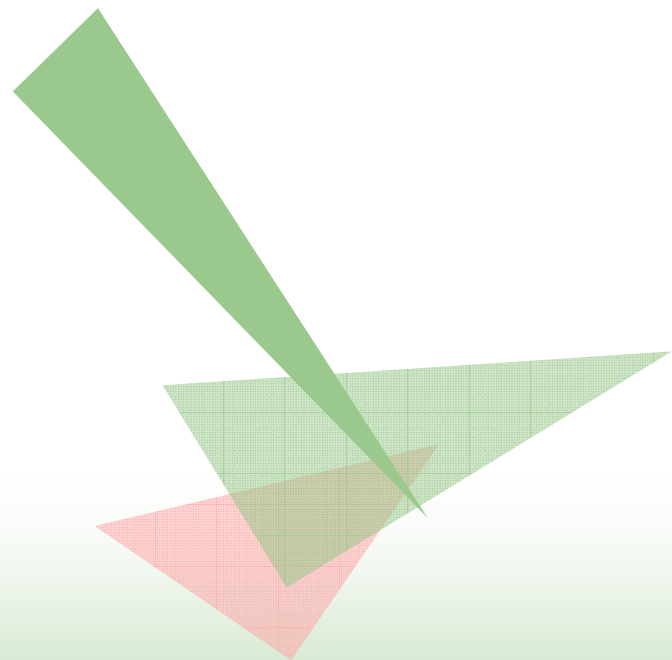
・投資有価証券の時価評価額の減少に伴う減少

# キャッシュ・フロー

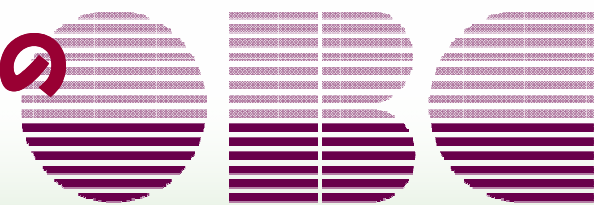
(単位:百万円)

	08/3	09/3	主な増減理由
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,546	1,902	税引前利益 4,372
			投資有価証券売却益 △ 1,346
			投資有価証券売却損 605
			投資事業組合運用損 906
			関係会社評価損 809
			売上債権減少 314
			法人税等支払 △ 4,058
			その他 300
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,306	△ 2,243	投資有価証券の取得 △ 8,001
			投資有価証券の売却等 6,370
			関係会社貸付金 △ 485
			その他 △ 127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,595	△ 5,934	配当金支払 △ 1,593
			自己株式の取得 △ 4,365
			その他 24
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	28	
現金及び現金同等物の増加額	7,253	△ 6,247	
現金及び現金同等物期首残高	28,823	36,076	
現金及び現金同等物期末残高	36,076	29,829	

# 2010年3月期 事業計画



勘定奉行の



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.

# 2010年3月期 計画の概要

## 売上高

前期比約5億円減の158億円

(百万円)	上期	下期	通期
ソリューション	1,800	2,150	3,950
関連製品	1,900	2,200	4,100
サービス	3,800	3,950	7,750

## 営業利益

前期比約5.6億円減の40.0億円

- ◆ 販管人件費ならびに研究開発費のコスト増を約4.0億円見込む
- ◆ 広告宣伝費、展示会費等プロモーション関連のコスト減を約3.0億円見込む

## 経常利益

前期比約6.0億円減の47億円

- ◆ 上場リートを中心とする配当金収入を約10.0億円見込む
- ◆ 有価証券評価損、投資事業組合運用損等を約3.0億円見込む

# 通期の業績見通し

(単位:百万円)

	09/3期		2010/3期 計画			
		売上比(%)		売上比(%)	増減額	前年同期比
売上高	16,267	100.0	15,800	100.0	△467	△2.9
売上総利益	12,852	79.0	12,400	78.5	△452	△3.5
販売管理費	8,294	51.0	8,400	53.2	106	1.3
営業利益	4,558	28.0	4,000	25.3	△558	△12.2
営業外損益	748	4.6	700	4.4	△48	△6.4
経常利益	5,306	32.6	4,700	29.7	△606	△11.4
当期利益	2,609	16.0	2,800	17.7	191	7.3

# 部門別売上高

(単位:百万円)

	09/3期		2010/3期 計画			
		売上比(%)		売上比(%)	増減額	前年同期比
ソリューション	4,367	26.8	3,950	25.0	△417	△9.5
関連製品	4,200	25.8	4,100	26.0	△100	△2.4
サービス	7,700	47.4	7,750	49.0	50	0.6
合計	16,267	100.0	15,800	100.0	△467	△2.9

## ソリューション

- ① 中小企業のIT投資抑制が続く
- ② 奉行21Ver.5へのバージョンアップ需要(上期のプラス要因)
- ③ 奉行21 64bit対応版の市場投入(下期のプラス要因)

## 関連製品

奉行連動ソリューションの収入減少

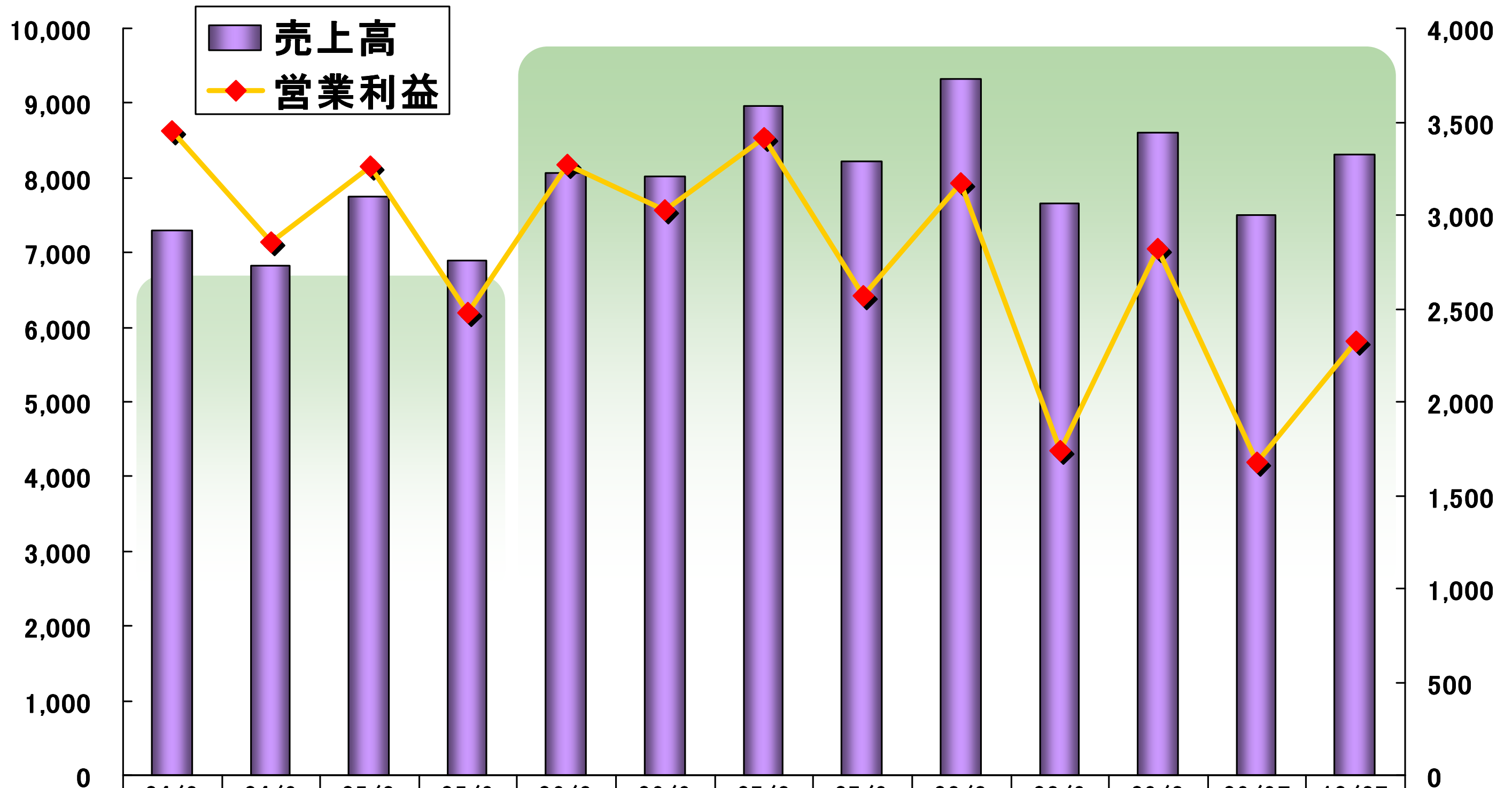
## サービス

新規出荷の減少に伴う保守契約伸び率の低下

# 業績の推移(半期ベース)

売上高  
(単位:百万円)

営業利益  
(単位:百万円)

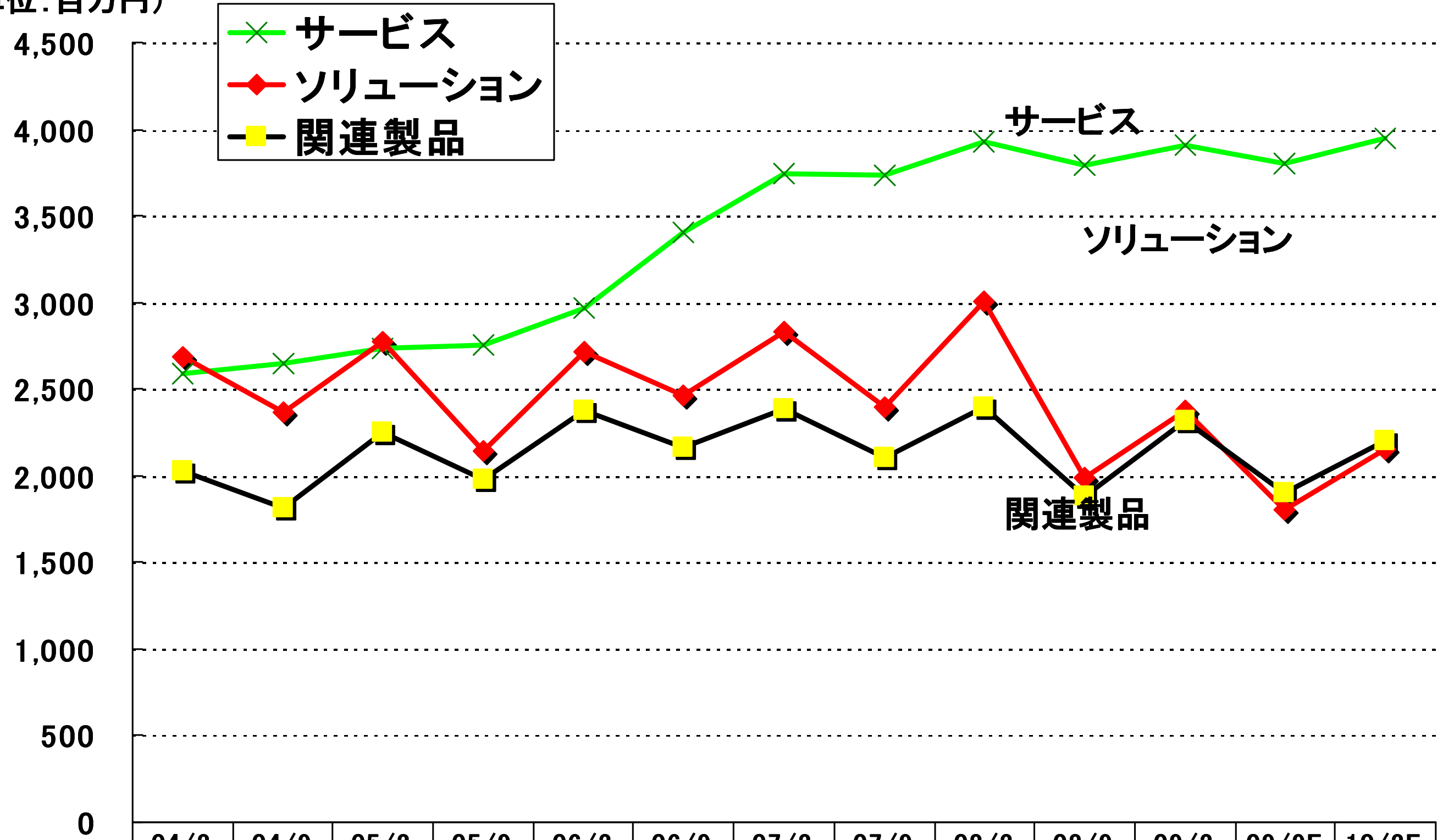


売上高	7,300	6,822	7,751	6,881	8,058	8,026	8,960	8,225	9,331	7,662	8,605	7,500	8,300
営業利益	3,453	2,858	3,260	2,473	3,271	3,023	3,416	2,567	3,170	1,741	2,817	1,680	2,320

← 予想 →

# 品目別売上高(半期ベース)

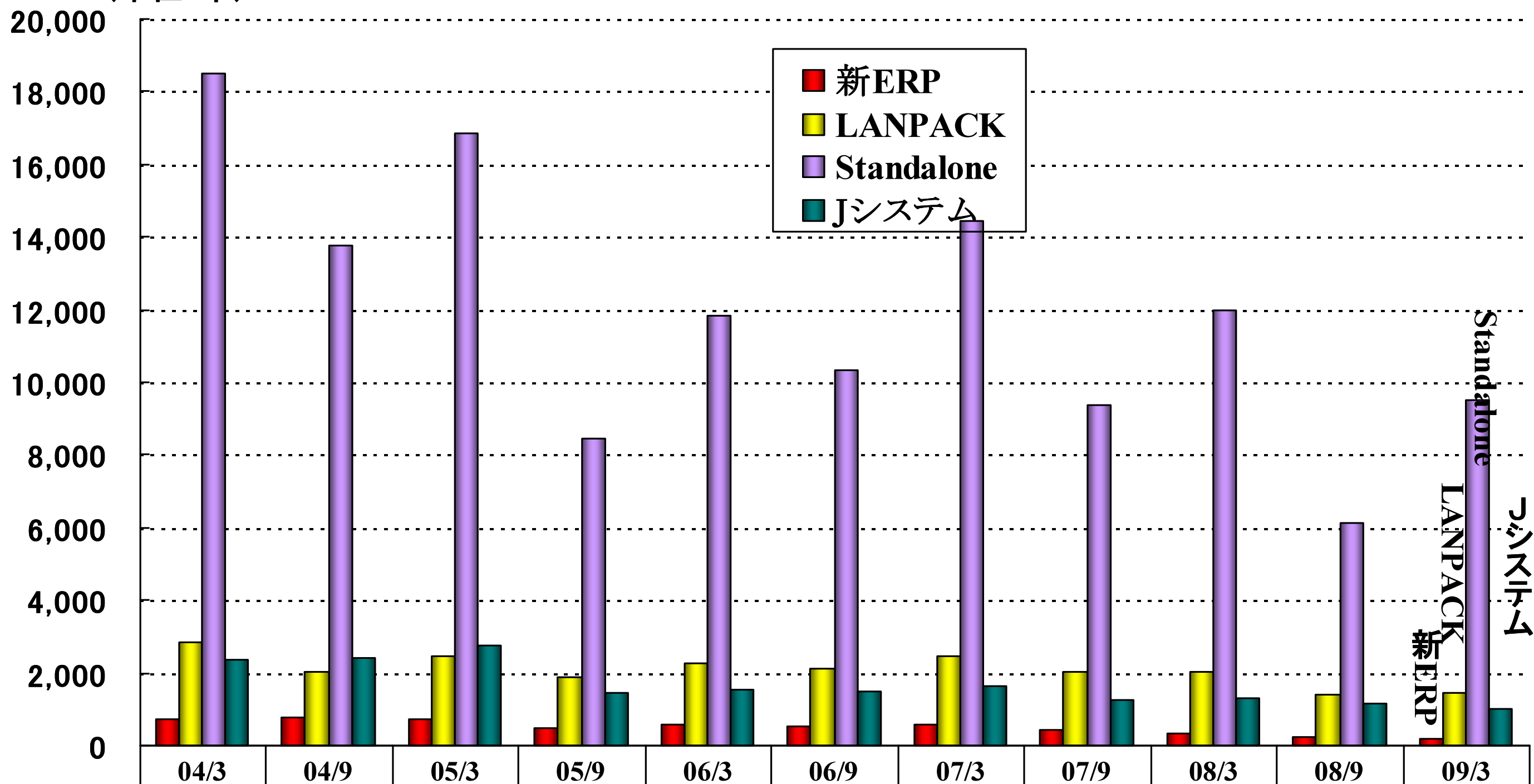
(単位:百万円)



← 予想 →

# ソリューションの出荷数量(半期ベース)

(単位:本)



■ 新ERP	745	776	740	507	588	522	575	425	347	256	213
■ LANPACK	2,836	2,037	2,452	1,863	2,261	2,137	2,469	2,007	2,006	1,417	1,436
■ Standalone	18,513	13,792	16,837	8,449	11,855	10,339	14,421	9,393	11,977	6,115	9,507
■ Jシステム	2,356	2,410	2,765	1,472	1,566	1,521	1,635	1,238	1,314	1,148	1,038

# 事業環境認識

World

■ サブプライムローンに端を発した経済・金融危機

新しい産業をどう興すのかという点にウエイトをおいた経済政策が注目されている

Japan

■ 世界経済の流れに飲み込まれる

この流れは、新しい時代へのチェンジである

Soft ware

■ 受託産業の進化

■ クラウドコンピューティングに向けてのスタート

■ ソフトウェア産業の構造改革

# クラウドコンピューティング

## First Stage 08年9月～09年3月

ネットを活用した新しいソフトウェア=ソフトウェア概念を変える第一歩

- アップデートサービス

## Second Stage 09年4月～9月

SaaSはクラウドコンピューティングの大きなポイント

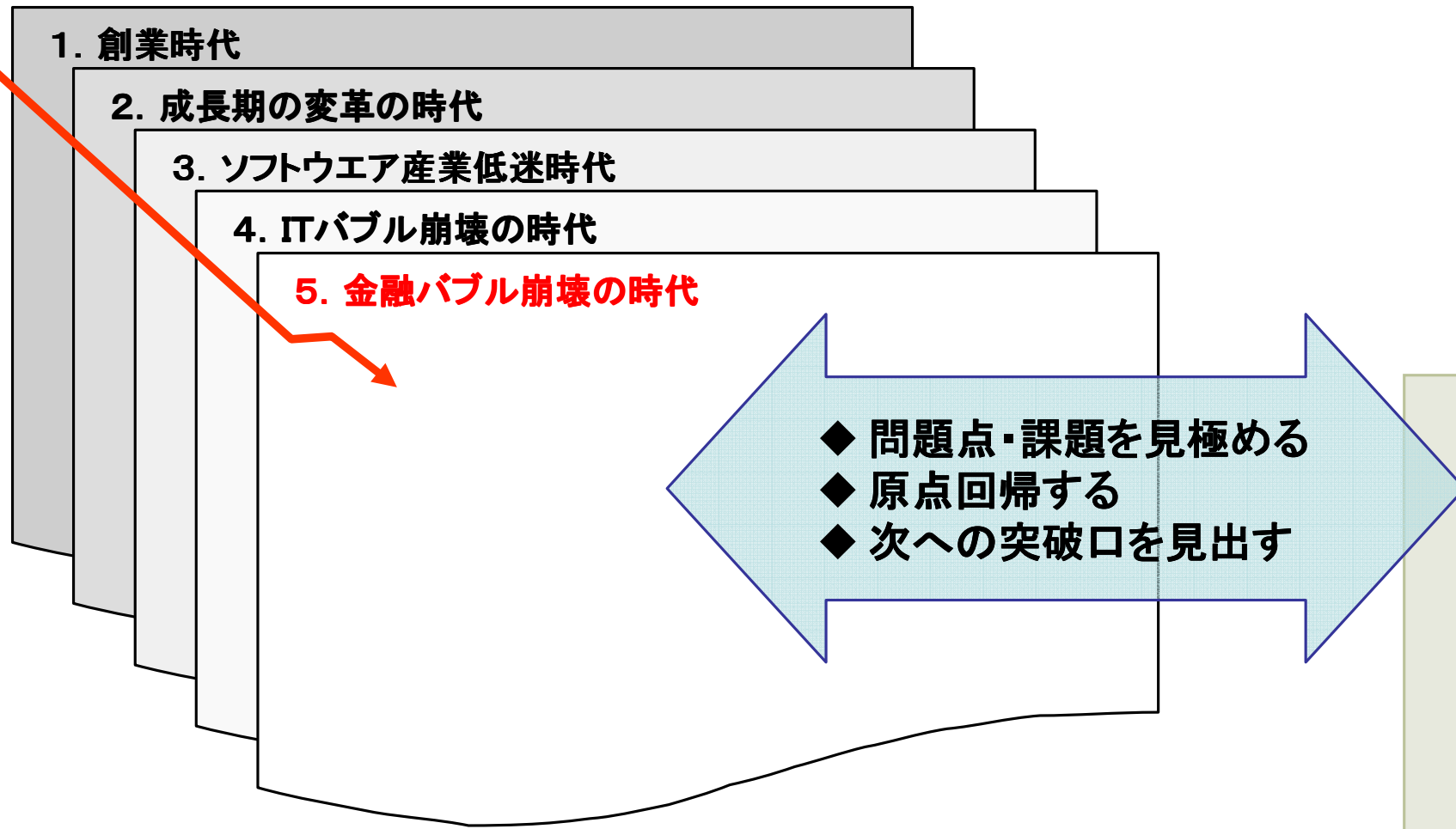
- J-SaaS ⇒ 経済産業省の中小企業IT 勘定奉行SaaSがスタート

## Third Stage 09年10月～

Windows7、奉行21 64bit対応版、クラウドコンピューティング

- 新しい時代に向けてのChange! イノベーション

# 事業戦略の概要



## 施策

### 《営業改革》

- マーケティングの改革を進める
- 営業の組織改革を行う
- お客様は誰かを見直す

✓ 組織業務の再編・業務の総見直し

✓ 事業所の統合・閉鎖

- 閉鎖 ⇒ 大垣テクノセンター、札幌サポートセンター
- 統合 ⇒ 神戸→大阪、千葉→東京

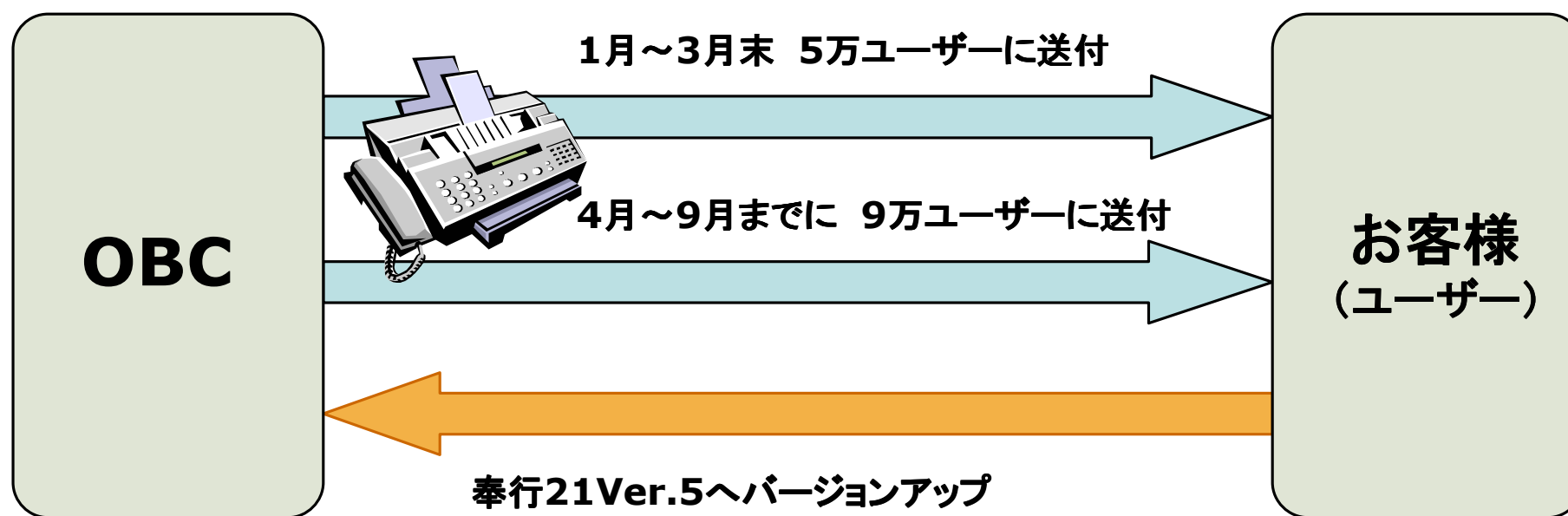
### 《コストへの対応》

- ✓ 外注委託費、営業管理コストの削減
- ✓ 広告宣伝費等の見直し
- ✓ その他コストの見直し

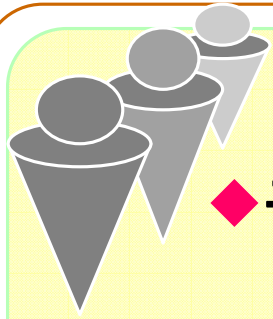
# 事業戦略

## 製品、販売戦略

- 奉行21Ver.5を投入 (08年10月24日発売済)
- 09年1月より ユーザーに対し、FAXにてバージョンアップを推進
- 4~9月期の戦略も、引き続きバージョンアップを推進
- 09年10月~12月に、奉行21Ver.5の後継機として、奉行21 64bit対応版を発売予定



# 中国戦略



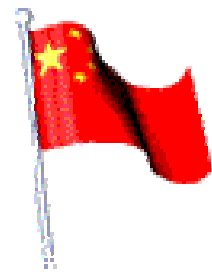
## OBCの中国戦略

- ◆ 子会社2社、関連会社3社で中国戦略のベース作り
  - ★ 上海欧比西晟峰軟件 (OBC99.4%出資)
  - ★ 上海索恩 (OBC40.4%出資)
  - ★ 上海晟峰軟件 (OBC40.4%出資) ⇒ 上海晟欧へ業務移管
  - ★ 新中大軟件 (上海欧比西晟峰軟件33.7%出資)
  - ★ 上海博科資訊股份 (OBC18.7%出資)
- ◆ 「Windows VISTA」対応の奉行シリーズ=多通貨、多言語に対応
- ◆ オプションコンポーネント  
奉行V ERP用のオプションコンポーネント開発

### 上海における開発

- ◆ 奉行VERPのカスタマイズ開発
- ◆ 奉行VERP用のオプション  
コンポーネントの開発

## 中国の市場規模



800万社(2005年)

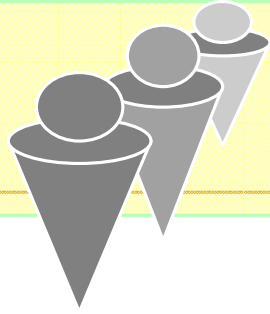
1,600万社(2010年)

80%程度へ

業務ソフトの導入率

10~12%

# 中国戦略



## OBCの中国戦略

会社名	主な事業	主な役割や特徴
上海欧比西晟峰軟件	日本企業を顧客としたソフト開発受託	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆奉行VERPのブリッジSE部隊としての役割</li> <li>◆奉行VERP用のオプションコンポーネントの設計</li> </ul>
上海晟欧軟件	日本向けのソフト開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆奉行VERPのカスタマイズ開発及び奉行VERP用のオプションコンポーネントの開発</li> </ul>
上海索恩	ITサービス、ホームページ作成、ASPサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国国内事業にフォーカスし、現在事業の立ち上げに専念</li> </ul>
新中大軟件	財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国財務会計ソフト3位、12%シェア</li> <li>◆省や県が使う公会計ソフトに強い</li> <li>◆中国国内に48の販売拠点を持つ</li> </ul>
上海博科資訊股份	物流・財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国財務会計ソフト第7位</li> <li>◆OBCの「次世代奉行シリーズ」と組み合わせることで、日系企業の経営効率を高めるソリューションを提供可能</li> <li>◆中国国内販売拠点30</li> </ul>

# M & A、アライアンス戦略

企業名	出資年月	出資比率	業務内容
フリービット(株)	2005年5月	2.5%	インターネットビジネス支援事業を展開しており、フリービット社と共同で、VPN接続を複雑な設定やソフトのインストールを行わずに実現する「OBCセキュアアクセスキー」を開発、販売。
ビズソフト(株)	2005年6月	49.0%	会計ソフト「弥生」の主力開発メンバーが設立。中小規模事業所向け業務ソフトを開発・販売。
(株)エムピー経営	2005年12月	9.6%	経営計画シミュレーションソフトウェア「MAP経営シミュレーションⅡ」を開発・販売。中小企業経営者の経営計画実践をサポート。
(株)ITCS	—	—	業務システム連動型ワークフローシステム「Manage」の独占的販売権を1.5億円で取得。Windows VISTA対応の「Manage」を開発。
(株)ディーバ	2006年3月	4.7%	連結会計システム「Diva System」を開発・販売。大手上場企業を中心に、企業の情報開示や連結経営をサポート。
ユニオンソフト(株)	2006年4月	29.8%	当社の奉行シリーズと連動して使用する手形管理システム「手形の達人」や資金繰り管理システム「資金繰りの達人」を開発・販売。
(株)アフォード・ビジネス・コンサルティング	2006年7月	39.8%	(株)アタックス、(株)オレガとの合併。中堅・中小企業向け経営支援を目的とした診断・導入・運用と内部統制コンサルティングサービスを提供。
BOS(株)	2007年1月	33.3%	スウィングバイ2020(株)と、大企業向けの経営支援を目的としたシステム診断・導入・運用サービスを提供する新会社を合併で設立。
(株)プログレス・パートナーズ	2007年3月	40%	(株)豆蔵OSホールディングスと、OBCの次世代基幹パッケージを利用して適正な財務会計プロセスを保証し、「事業遂行の見える化」を実現させ、コンサルティングサービスを提供する合併会社を設立。
晟峰情報(株)	2007年10月	30%	上海晟峰軟件有限公司が、日本での営業拡大のため大阪に設立。資本金額50百万円。

# 成長戦略のまとめ

08年度

09年度

10/24 奉行21Ver.5を投入

◆「奉行21 64bit対応版」の市場投入

◆奉行21Ver.5のアップデート推進

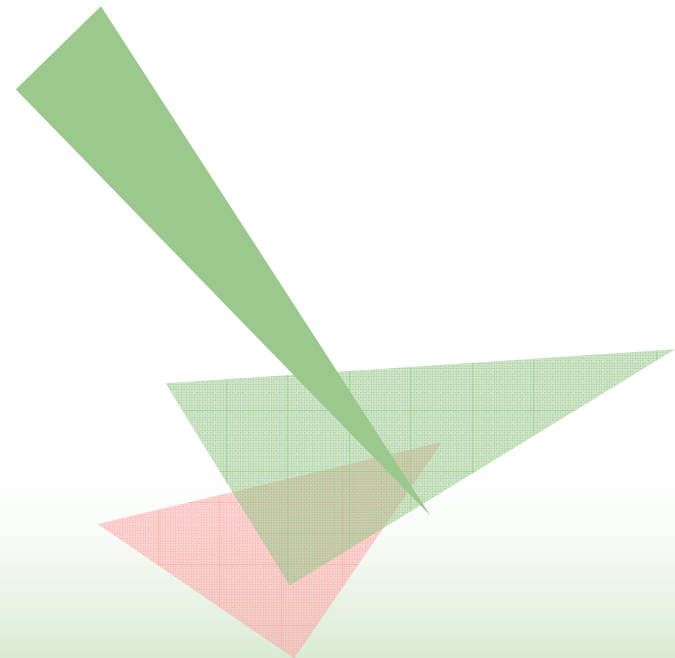
◆奉行V ERPの市場浸透

◆中国戦略－OBCの国際化

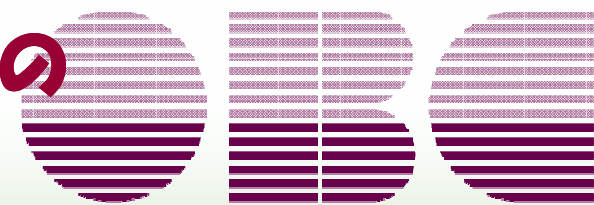
# 本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

## [www.obc.co.jp](http://www.obc.co.jp)



勘定奉行の



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.